



## ご挨拶

今年新型コロナウイルス対応で大変な年になりました。1月に中国で最初の発症が報道され、春節に近い時期でしたのである程度の感染は覚悟しましたが、ここまでの脅威になるとは誰も想定していなかったと思います。日本中が期待していた56年ぶりの東京オリンピックも1年延期となり、まだまだ収束の見えないコロナ脅威と付き合いながらの生活として、「ニューノーマル」や「withコロナ」という考え方に移行し、生活も変わってきております。日本は安倍内閣から菅内閣に代わり、米国大統領もトランプからバイデンに代わる予定で、少しずつ世界も変わること期待をします。

群馬県支部支部長の1年目として、皆様からの期待もされてたのかと存じますが、自分でもいろいろ準備しておりましたが、結果としては3月の春の集いも10月の総会・懇親会も中止という悲しい決断をするだけに終わりました。コロナ禍で大変だったのは我々だけでなく、若い学生も大変な苦勞だった様です。1回生は学校に入れずOnline授業となり、アルバイトも出来ず生活が苦しくて学業を断念する人が居たり、4回生は最後の学生生活の夢も有ったでしょうが、叶わなかったそうで、支部からは募金でしか応援する手段がありませんでした。

来年こそはコロナ対策ワクチンや生活様式も確定し、元通りとはいかないかもしれませんが、必ず明るい笑顔で皆様と早くお会いできることを期待しております。

群馬県支部 支部長 内田隆雄

## 春の集い

3月15日(土)に「マリエール高崎」で、恒例の「春の集い」を開催すべく準備し、1月18日に案内状の発送を行い、出欠締切の2月29日の前日に役員一同で中止を決定致しました。

参加の返事を頂いていた方々には電話で中止連絡をし、企画していた箏曲家の鈴木創さんとフルート奏者の木村ひかりさんにも中止の連絡をさせて頂きました。

個人的には『春の集い』の演奏としてはピッタリで、人生でも初の琴の生演奏を期待しておりましたが、残念でなりませんし、ぜひ次回にお願いしたいと思います。



## 令和2年度支部総会

10月18日(日)に「マリエール太田」で開催予定で計画していた支部総会も中止せざるを得ず、文書により会員皆様に議案の賛否を伺いました。議案は「活動報告」と「会計報告」の2議案でした。

発送総数212通、回答総数92通、回答者全員が両議案に対し、「賛成」を表明して頂きました。

折角ですので、会員皆様から頂いたご回答の通信欄に記載されていた内容を幾つかご紹介します。

- ・コロナ禍での書面総会の判断に賛成です。
- ・新型コロナウイルス感染症の蔓延には本当に困惑いたしました。母校同志社はこれらを収束させるためにお互い協力したいもの。後日の栄光を期して頑張りましょう。
- ・今年は何も出来なくて残念ですね。来春には皆で会いたいものですね。
- ・コロナの影響の中にあっても、新島研究会の活動があることに灯を感じました。また、再会できる日を楽しみにしています。

一日も早くコロナが収束し、来年は総会が開催でき、会員皆様とお目にかかれることを祈念しております。

## All Doshisha募金

昨年の暮れに、春の集いと総会参加者の皆様から合計61,700円のご協力を頂き、支部から補助を加えて10万円を同窓会との連名で寄付したことは昨年の会報で報告しました。

今年新型コロナウイルスの影響で学生達が授業はもちろんのこと、アルバイト先の影響で生活に困窮している話を聞き、群馬県支部として何が出来るのかを役員全員で協議しました。All Doshisha募金が始まった際に決めた事は、「『Vision 2025』に向けて、春の集いと総会で出席の皆様の支援金に支部からの補助を行って、毎年応援する」という事でしたが、今年春の集いも総会も中止になったことから、通常は校友会支部活動に充当している経常支援金(校友会本部から頂いてるもの)の一部を、役員で協議の結果、困窮している学生の支援に向けようと、7月14日付けで10万円の学生支援募金をさせて頂きました。

今後も継続していく予定ですので、皆様のご協力も宜しくお願ひしたいと思ひます。

## 平成卒交流会

今年全国的なコロナ発生による感染拡大防止の観点から、残念ながら年2~3回開催している「平成卒交流会」の開催は見送りとさせて頂きました。来年もコロナ禍の状況を考慮しながら引き続き交流会を開催致しますので、ご興味のある方や皆様方の中で、平成卒で推薦したい方等いらっしゃいましたら、是非幹事の三輪まで連絡をお願いします。

メールアドレス:k\_miwa@gs21.co.jp

「平成卒交流会」とは、2016年に校友会若手有志にて結成された平成卒以降の若手(約30人)で構成されている、群馬県支部独自の校友会組織です。この会では同志社時代の共有だけでなく、異業種交流による参加者の積極的な情報共有にも力を入れています。

尚、過去10回の開催の様子は、写真付きで「同志社校友会 群馬県支部」HPの「活動報告」にて掲載させて頂いています。コロナ禍が早く終息し皆様と実際にお目にかかり、昔話に花を咲かせられる日が早く来ることを願っています。



新島研究会

(1) 経緯

新島研究会は、学生時代には校祖新島襄先生について、関心がなく過ごした反省から、現会長の鳥本氏の発案で平成23年から始まりました。第1回目は、丸善出版の「現代語で読む 新島襄」を基に、会員が各章を分担して感想を発表しました。その後、岩波文庫の「新島襄自伝」「新島襄の手紙」「新島襄 教育宗教論集」で基礎学習を修めました。会員は現在、校友会・同窓会を含めて14名おります。7・8月を除き毎月第三土曜日に高崎労使会館において、研究発表を開催し、年1回は新島襄先生に関連する名所の旅行を行います。また、東京新島研究会との交流会やお茶会等も実施しております。

(2) 新島研究発表

今年度は、コロナの影響で活動が制限されましたが、情熱ある会員に支えられて6回開催できました、研究発表する場所も値段が高いですが広い部屋を使用し、密を避け換気に気を付けながら全員マスク着用で下記の日程で行いました。9月には、東京新島研究会の支倉氏に東京から高崎までお越し頂き、交流を図りました。5月に講演を予定していた、元国際基督教大学の高校に勤めておられた現新島学園の古畑校長先生が、コロナの影響で実現できなかったのが残念でしたので、来年 コロナが収束してから再度お願いする予定です。

- 1月18日 「同志社女学校『明治18年事件』と新島襄の女性観の変化」(樽見) 「新島研究会」年度計画(案)
- 2月15日 「新島襄が触れたキリスト教と彼の准宣教師としての働き」(田島) 「イザベラ・バードの新島襄観」(狩野)
- 6月20日 「『田村直臣』とその歴史」(鳥本) 「同志社大学商学部教授大島正氏の戦い『サラリーマン税金訴訟』」(松村) 「松山・今治・しまなみ海道旅行」の検討[コロナの影響を鑑み中止に決定]
- 9月19日 「新島襄の遺言(大磯)」(東京新島研究会・支倉清)
- 11月14日 「良心教育について」(中山) 「新渡戸稲造と新島襄・同志社」(真下)
- 12月19日 「江戸幕府末期から明治初期の外国との人的交流」(小泉) 「新島襄・同志社と岸和田」(角田)

(3) 新島旅行

平成24年から毎年、新島先生の足跡を辿る旅行を行っておりますが、今年はコロナの影響で途切れてしまったのが残念でした。過去の旅行先は以下の通りです。

- 平成24年 4月13~14日 : 会津若松
- 平成25年 5月27~28日 : 京都
- 平成26年 6月14~15日 : 北海道「函館」
- 平成27年 6月17~18日 : 大磯
- 平成28年 6月5~6日 : 仙台、松島
- 平成29年 6月4~5日 : 金沢、山中温泉
- 平成30年 6月3~5日 : 岡山、倉敷、高梁
- 令和元年 6月9~11日 : 城崎温泉、天橋立

今年は、オリンピックが行われる予定だったので、オリンピックが終わった後の10月21日~23日まで行く予定でした。コロナの影響が予測できないですが、来年また同じ時期にチャレンジしたいと予定しています。ちなみに、行く先は以下の予定です。

- 一日目：高崎から羽田発のフライトで松山に行き、松山教会、道後温泉で一泊
- 二日目：松山市内見学(坂の上の雲ミュージアム、松山城)の後、今治教会へ
- 三日目：今治から小型バスで「しまなみ海道」を通り、「村上水軍博物館」「平山郁夫美術館」を観て、福山から新幹線で高崎へ

2021年計画案(来年の主な校友会行事です。奮ってご参加下さい。)

行事内容	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	記事
春の集い	中止												
ゴルフ	状況により計画												
平成卒交流会	状況により計画												
旅行	状況により計画												
総会・懇親会										○			



群馬県支部「春の集い」は中止です  
昨年度に続き、コロナの影響の為に  
「春の集い」は中止とさせていただきます

総会・懇親会出席のお願い  
同志社に学んだ校友が、一堂に会し、旧交を温める場です。是非、総会・懇親会にご参加下さるようお願いしています。  
2021年10月3日(日)  
(マリエール高崎)